

# 平成27年度 エネルギー関連施設見学会

8月4日(火)～8月6日(木)

## 【広報・調査等交付金事業】

今年も、30名の小中学生が参加し、道外でのエネルギー関連施設見学会を行いました。

1日目は、幌延深地層研究センターを見学しました。ゆめ地創館で施設見学を行い、幌延町で行われている研究について学びました。その後、バーチャル地下施設見学を行い、まるで本当に地下施設を見学しているかのようなバーチャル技術に参加児童・生徒は楽しんで勉強することができました。

2日目は、茨城県の東海研究開発センターと原子力科学館を見学しました。東海研究開発センターでは、研究で実際に使用している電子顕微鏡の操作を参加児童・生徒が体験したり、研究開発が行われている研究室を見学しました。

原子力科学館では、原子力の基礎知識について学びました。普段肉眼では見ることのできない、自然に降り注ぐ放射線を桐箱という実験器具を通して見たり、レントゲンや空港での手荷物検査で用いられるX線を使い、カバンの中身が透けて見えるという不思議な現象に驚いていました。

様々な施設を見学し、エネルギーの不思議や疑問など、様々なことを学ぶことのできたとても良い見学会になりました。本州の暑さに弱音を吐かず参加児童・生徒は最後までしっかりと勉強してくれました。今後も今回の経験を活かして、エネルギーについて関心を持ち知識を増やしてほしいです。



▲3Dシアターを体験!!



▲原子力科学館



▲東海研究開発センター



▲幌延深地層研究センター 実規模試験施設